

# エコアクション21 環境活動レポート



【活動期間 平成30年7月～令和元年6月】

発行年月日：令和元年6月28日 第9版



総合建設業  
**東山建設株式会社**

〒781-8122  
高知県高知市高須新町三丁目5番1号  
TEL：088-885-2727  
FAX：088-885-3690

# 目 次

<b>1 組織の概要</b>	P-1
<b>2 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日</b>	P-2
<b>3 環境方針</b>	P-3
<b>4 環境管理組織体制</b>	P-4
<b>5 環境目標</b>	P-5
<b>6 環境活動計画</b>	P-6
<b>7 環境目標の実績</b>	P-7
<b>8 環境活動計画の取組結果とその評価</b>	P-9
<b>9 次年度の取組内容</b>	P-12
<b>10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無</b>	P-13
<b>11 代表者による全体評価と見直しの結果</b>	P-14

# 1 組織の概要

商号 **東山建設株式会社**  
代表者 代表取締役 **東山 瑞穂**  
環境管理責任者 **山崎 昌宏**

本社所在地 〒781-8122 高知県高知市高須新町三丁目5番1号  
TEL 088-885-2727 FAX 088-885-3690  
E-mail info@higasiyama.com URL http://www.higasiyama.com  
(担当者 村岡 利之)

付属施設 資材置場 (〒780-8025高知県高知市南中山31-1 敷地2500m<sup>2</sup>)

保有機械等 BH0.45m<sup>3</sup> 1台 BH0.15m<sup>3</sup> 2台 ダンプトラック 2台 4+ユニック車 1台

事業内容 **土木構造物の施工**  
土木部は、主に公共工事が主体  
**建築構造物の施工**  
建築部は、公共6割民間4割・耐震工事(ウッドピタ工法)

創業 昭和18年7月 (1943年)

資本金 2,100万円

※当社の事業年度は7月から翌年6月です

事業規模	28年度	29年度	30年度
完工高	820百万円	1,578百万円	1,055百万円
従業員数(6月末時点)	30人	29人	30人
事業所敷地面積	1,230m <sup>2</sup>	1,230m <sup>2</sup>	1,230m <sup>2</sup>
事業所延べ床面積	944m <sup>2</sup>	944m <sup>2</sup>	944m <sup>2</sup>

許可 特定建設業の許可 高知県知事許可 (特-26) 第1427号 許可日 平成27年3月9日  
土木工事業 大工工事業 タイル・れんが・ブロック工事業  
ほ装工事業 内装仕上工事業 建築工事業 とび・土工事業  
鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業  
石工事業 塗装工事業 防水工事業 造園工事業  
解体工事業 (特-30) 第1427号 許可日 平成30年10月2日

一般建設業の許可 高知県知事許可 (般-26) 第1427号 許可日 平成27年3月9日  
管工事業

## 2 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲	全社（全活動、全組織、全従業員） 本社 〒781-8122 高知県高知市高須新町3丁目5番1号 資材置場 〒780-8025 高知県高知市南中山31-1
環境レポート対象期間	平成30年7月～令和元年6月（1年間）（第9版）
環境レポート発行日	令和1年6月28日
次回の環境レポート発行予定	令和2年7月予定
作成責任者	環境管理責任者 山崎 昌宏

### 3 環境方針

#### 【基本理念】

当社は、事業活動における環境負荷の低減と地球環境保全の重要性を認識し、活動を通じて循環型社会の構築に継続的に貢献する。

#### 【基本方針】

- 1) : 事業活動に於けるCO<sub>2</sub>削減と節水に努めます。
- 2) : 事業活動に於ける廃棄物の削減と適正処理に努めます。
- 3) : 事業活動に於ける地産地消に努めます。
- 4) : 環境関連法規を遵守し、環境配慮工法及び製品を積極的に活用します。
- 5) : 社会貢献活動に積極的に参加に努めます。
- 6) : 全従業員にこの取組を周知するとともに、環境レポートを公開します。
- 7) : グリーン購入の促進に努めます。

平成22年7月1日制定

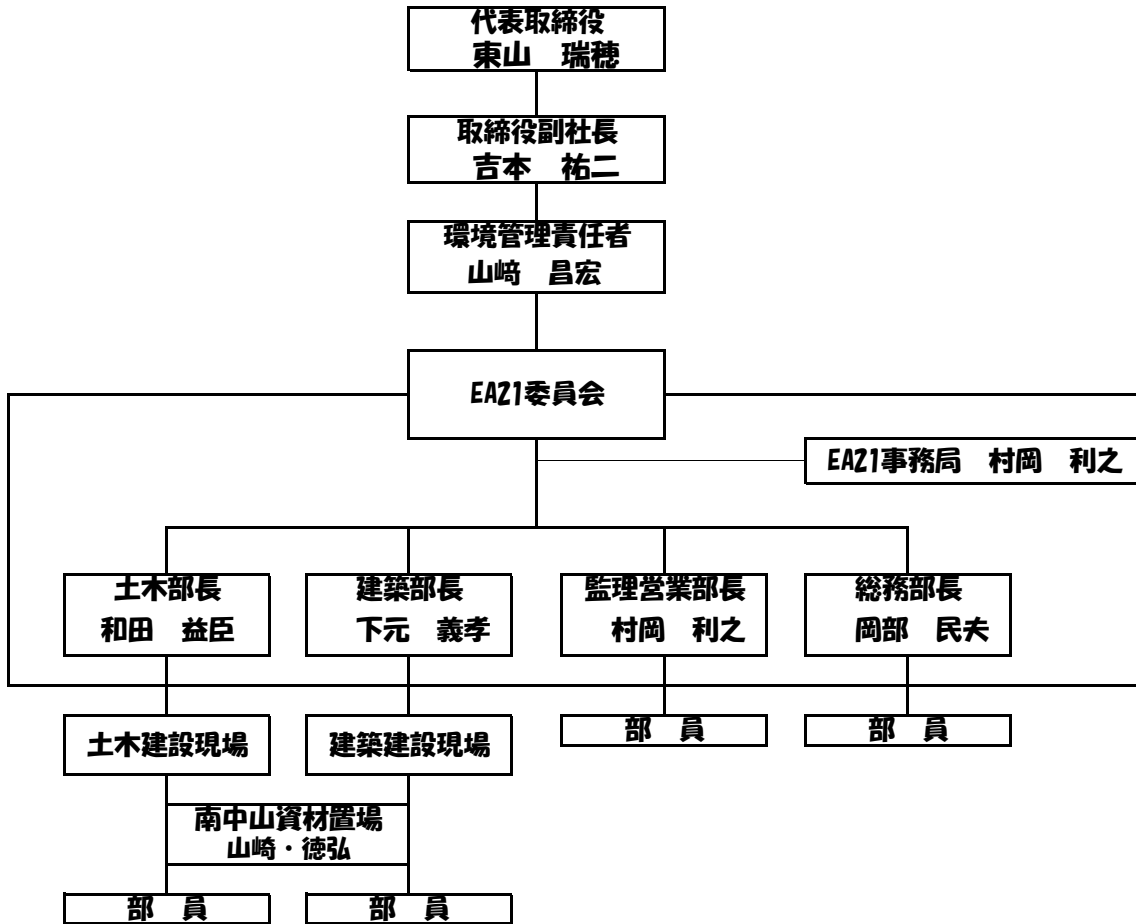
平成27年7月31日改定

東山建設株式会社

代表取締役

東山 瑞穂 

## 4 環境管理組織体制



### 環境管理システム 役割 責任 権限

**代表者 (副社長)** : 環境経営の統括責任者 : 環境方針を定め、周知する  
 : 環境管理責任者を定める : 資源の調達  
 : 活動計画書の承認と計画及び取組みの見直し : 活動レポートの承認

**環境管理責任者** : 環境活動計画の構築・運用管理 : 関連法規の確認  
 : 活動計画書の立案 : 実施状況を代表者へ報告 : 活動レポートの確認  
 : 教育訓練の立案 : 環境コミュニケーションの確認

**EAZ1事務局** : システム運用上の事務処理

**委員会 (部門長)** : 環境活動計画の実施 : 計画の実施及び達成状況の報告  
 : 教育訓練の実施 : 問題点の発見、是正、予防処置の実施

**従業員 (部員)** : 環境方針の理解 : 自主的、積極的な環境活動への参加

## 5 環境目標

### 事務所 (単年度及び中長期)

項目	平成21～25年度 基準値(平均)	今回対象年度			
		平成30年度 目標	令和元年度 目標	令和2年度 目標	令和3年度 目標
ガソリン使用量 L/年	5,979	5,680	5,620	5,560	5,501
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
灯油使用量 L/年	327	310	307	304	301
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
電力使用量 kWh/年	28,402	26,982	26,698	26,413	26,130
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> /年	25,332	24,065	23,812	23,559	23,306
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
水使用量 m <sup>3</sup> /年	159	151	149	148	146
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
一般廃棄物排出量 kg/年	162	155	154	152	151
注2 削減率		-4%	-5%	-6%	-7%
グリーン購入金額 円/年	261,000	271,440	274,050	276,660	279,270
増加率		+4%	+5%	+6%	+7%

### 現場 (単年度及び中長期)

項目	平成21～25年度 基準値(平均)	今回対象年度			
		平成30年度 目標	令和元年度 目標	令和2年度 目標	令和3年度 目標
ガソリン使用量 L/年	12,718	12,082	11,955	11,828	11,701
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
軽油使用量 L/年	34,257	32,544	32,202	31,859	31,517
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
灯油使用量 L/年	556	528	523	517	512
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
電力使用量 kWh/年	79,664	75,680	74,884	74,088	73,291
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> /年	115,931	110,134	108,975	107,815	106,657
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
水使用量 m <sup>3</sup> /年	212	201	199	197	195
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
産業廃棄物排出量 t/年	2,555	2,427	2,402	2,376	2,351
削減率		-5%	-6%	-7%	-8%
環境配慮工法 及び製品の活用		1工事で3項 目以上	1工事で3項 目以上	1工事で3項 目以上	1工事で3項 目以上
事業活動における 地産地消		3項目以上	3項目以上	3項目以上	3項目以上

基準値の設定・・・平成21年度から平成25年度の5年間の平均とした

注1：購買電力のCO<sub>2</sub>排出係数は平成21年12月28日公表の四国電力の実排出係数0.378kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。

注2：一般廃棄物は、リサイクル量(古紙等)を除いた数量としています。

## 6 環境活動計画（平成30年度）

（平成30年7月1日～令和元年6月30日）

項目	活動内容	担当者
電気使用量削減	長時間使用しないパソコンは電源OFF	使用者
	退社時にコンセントを抜く	使用者
	不要な照明の消灯	EAZ1委員会
	不要な空調機器の停止	EAZ1委員会
	トイレ・洗面所は必要時のみ点灯	使用者
	省エネエアコンへの取替え	EAZ1委員会
	冷暖房機の温度設定（冷房28℃ 暖房20℃）	EAZ1委員会
燃料使用量削減	アイドリングストップ・急発進・急加速の禁止	使用者
	法定速度遵守	使用者
	過積載防止	現場責任者
	電車（ですか）利用促進	総務
	排ガス対策機械の優先使用	現場責任者
	低燃費機械の優先使用	現場責任者
	低燃費車両への買替	EAZ1委員会
一般廃棄物削減	可能な限り両面コピーの実施	使用者
	可能なものは裏紙コピーの実施	使用者
	ゴミの分別をして減量化さす	総務
	リサイクル業者への排出	総務
産業廃棄物削減	マニフェストによる適正管理・処理に努める	現場責任者
	分別を徹底して排出する	
水使用量削減	垂れ流し状態をなくす	使用者
	こまめに蛇口を閉める	
グリーン商品の利用促進	グリーン商品の優先購入	総務
	対象商品の拡大	
地産地消の取組	リサイクル資材の優先購入	現場責任者
	木材・コンクリート製品など（輸送コスト低減）	
環境配慮工法・製品の使用	河川汚濁防止対策	現場責任者
	排ガス対策機械・低燃費機械の使用	
	粉塵発生の低減	
	低騒音・低振動な施工の促進	
地域・社会貢献活動	使用資材の化学物質の低減	EAZ1委員会
	清掃活動などに積極的な参加	
	エコキャップ活動の拡大	
	交通エコポイント還元事業	



## 7 環境目標の実績

### 事務所（平成30年度）

項目	単位	平成21～25年度 基準値（5年平均）	平成30年度	
			目標値	実績値
ガソリン使用量	総量（L/年）	5,979	5,680	3,462
			-5%	-39.0%
灯油使用量	総量（L/年）	327	310	216
			-5%	-30.3%
電力使用量	総量（kWh/年）	28,402	26,982	21,968
			-5%	-18.6%
二酸化炭素排出量 <sup>注1</sup>	総量（kg-CO <sub>2</sub> /年）	25,332	24,065	17,057
			-5%	-29.1%
水使用量	総量（m <sup>3</sup> /年）	159	151	111
			-5%	-26.5%
一般廃棄物排出量 <sup>注2</sup>	総量（kg/年）	162	155	165
			-4%	6.5%
グリーン購入金額	購入金額（円/年）	261,000	271,440	697,691
			+4%	+157.0%

※電気事業者のCO<sub>2</sub>排出係数（四国電力）平成21年12月28日公表 0.378kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用 (注1)

※一般廃棄物排出量は、リサイクル分を除いた数量としています。(注2)

- ・一般廃棄物は10kg増で未達となった。(事業活動での限界ラインと考えるが引き続き削減に取り組む)
- ・グリーン購入額は、積極的に環境負荷の少ないものを選定した結果増加した。

### 現場（平成30年度）

項目	単位	平成21～25年度 基準値（5年平均）	平成30年度	
			目標値	実績値
ガソリン使用量	総量（L/年）	12,718	12,082	12,081
			-5%	-0.0%
軽油使用量	総量（L/年）	34,257	32,544	39,961
			-5%	+22.8%
灯油使用量	総量（L/年）	556	528	72
			-5%	-86.4%
電力使用量	総量（kWh/年）	79,664	75,680	31,366
			-5%	-58.6%
二酸化炭素排出量 <sup>注1</sup>	総量（kg-CO <sub>2</sub> /年）	115,931	110,134	144,952
			-5%	-29.6%
水使用量	総量（m <sup>3</sup> /年）	212	201	687
			-5%	-241.8%
産業廃棄物排出量	総量（t/年）	2,555	2,427	3,111
			-5%	+28.2%
環境配慮工法など	（5千万以上の工事）		—	7件工事
			3項目以上	3項目以上実施

・地産地商については、建築工事で県産木材の使用などで実施されている。

・軽油使用量の増加原因は、河川工事での発電機使用による。

・二酸化炭素排出量も上記に伴って増加となった。

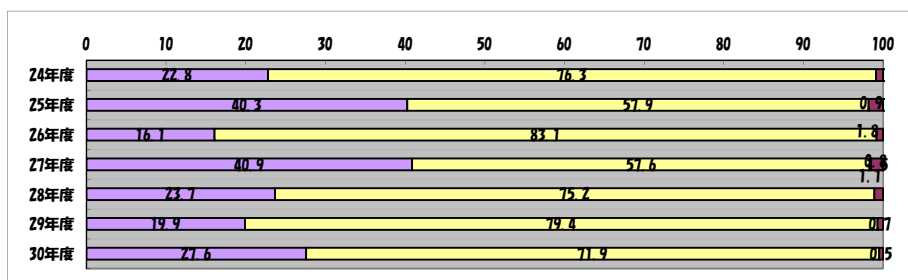
・産業廃棄物は、受注工事内容により、コンクリート構造物の取壊し、河川工事での伐木、除根に伴い増加した。

・現場での水の使用量の増加は、下水道工事で薬液注入等で多く使用したために増加した。

当社の環境負荷の状況 平成24年度からの推移

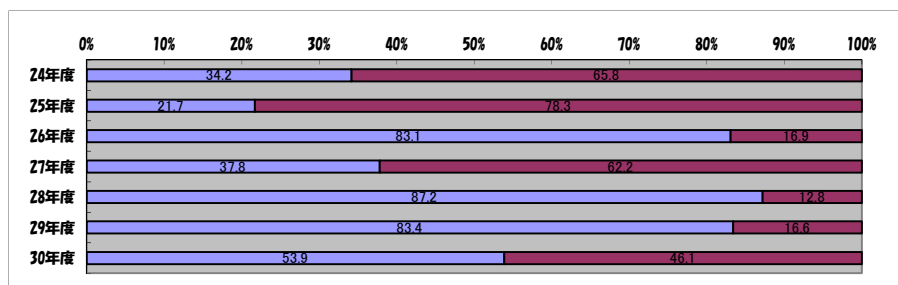
	本社(本)	現場(本)	計(本)		比率%	
ガソリン	24年度	26	49	75	ドラム缶200ℓ換算(本)	22.8
	25年度	29	44	73		40.3
	26年度	32	38	70		16.1
	27年度	33	43	76		40.9
	28年度	63	83	146		23.7
	29年度	25	46	71		19.9
	30年度	17	60	77		27.6
軽油	24年度	0	251	251	ドラム缶200ℓ換算(本)	76.3
	25年度	0	105	105		57.9
	26年度	0	362	362		83.1
	27年度	0	107	107		57.6
	28年度	0	464	464		75.2
	29年度	0	283	283		79.4
	30年度	0	200	200		71.9
灯油	24年度	1.8	1.1	2.9	ドラム缶200ℓ換算(本)	0.9
	25年度	0.7	2.5	3.2		1.8
	26年度	1.4	2.0	3.4		0.8
	27年度	0.6	2.2	2.8		1.5
	28年度	2.5	4.0	6.5		1.1
	29年度	2.2	0.2	2.4		0.7
	30年度	1.1	0.4	1.5		0.5

河川工事で使用量増加



産業廃棄物排出量と再生材使用量

			比率%
CoガラAsガラ木くず等排出量	24年度	1,150	34.2
	25年度	1,276	21.7
	26年度	2,524	83.1
	27年度	2,440	37.8
	28年度	5,885	87.2
	29年度	2,894	83.4
	30年度	3,111	53.9
再生砕石等使用量	24年度	2,211	65.8
	25年度	4,613	78.3
	26年度	512	16.9
	27年度	4,008	62.2
	28年度	859	12.8
	29年度	576	16.6
	30年度	2,652	46.1



売上高・CO<sub>2</sub>排出量

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高(百万円)	746	916	1082	1095	820	1578	1055
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	130,219	109,986	238,569	111,334	339,741	207,343	162,009
売上高百万円当たりのCO <sub>2</sub> 排出量(kg・CO <sub>2</sub> /百万円)	174.6	120.1	220.5	100.7	414.3	131.4	153.6

項目	担当者	活動内容	取組結果	評価	見直し
電気使用量削減	使用者	長時間使用しないパソコンは電源OFF	実施できている	○	-
	使用者	退社時にコンセントを抜く	実施できている	○	-
	EAZ1委員会	不要な照明の消灯	実施できている	○	-
	EAZ2委員会	不要な空調機器の停止	実施できている	○	-
	使用者	トイレ・洗面所は必要時のみ点灯	実施できている	○	-
	EAZ1委員会	省エネエアコンへの取替え	実施できなかった	×	買替時に省エネ型に切替
	EAZ2委員会	冷暖房機の温度設定（冷房28℃ 暖房20℃）	実施できた	○	-
燃料使用量削減	使用者	アイドリングストップ・急発進・急加速の禁止	実施できた	○	-
	使用者	法定速度遵守	実施できた	○	-
	現場責任者	過積載防止	実施できた	○	-
	総務	電車（ですか）利用の促進	実施できた	○	-
	現場責任者	排ガス対策機械の優先使用	実施できた	○	取組は定着した
	現場責任者	低燃費機械の優先使	実施できた	○	取組は定着した
	EAZ2委員会	低燃費車両への買替	実施できなかった	×	買替時に低燃費型に切替
一般廃棄物削減	使用者	可能な限り両面コピーの実施	実施できている	○	取組は定着した
		可能なものは裏紙コピーの実施	実施できている	○	
	総務	ゴミの分別をして減量化	実施できている	○	
		リサイクル業者への排出	実施できている	○	
産業廃棄物削減	現場責任者	マニフェストによる適正管理・処理に努める	実施できている	○	-
		分別を徹底して排出する	実施できている	○	-
水使用量削減	使用者	垂れ流し状態をなくす	実施できている	○	-
		こまめに蛇口を閉める	実施できている	○	-
グリーン商品の利用促進	総務	グリーン商品の優先購入	実施できている	○	-
		対象商品の拡大	実施できている	○	-
地産地消の取組	現場責任者	リサイクル材料の優先購入	実施できている	○	-
		木材・コンクリート製品など（輸送コスト低減）	実施できている	○	-
環境配慮工法・製品の使用	現場責任者	河川汚濁防止対策	Z現場で実施	○	-
		排ガス機械・低燃費機械の使用	排ガス対策機械は全現場実施	○	-
		粉塵発生の低減	散水などを適切に実施	○	-
		低騒音・低振動な施工の促進	発動の使用機械は低騒音を使用	○	-
		使用資材の化学物質の低減	実施できている	○	-
地域・社会貢献活動	EAZ1委員会	清掃活動への積極的参加	各種の清掃活動に参加	○	-
		エコキャップ活動も拡大	H23年から継続中	○	前年より減少
		交通エコポイント還元事業	別の取組に協賛	○	-

評価者 環境管理責任者  
 ※確認・評価は社内検査や安全パトロール  
 の実施時などに確認しました。  
 令和1年6月28日

# 当社の環境活動状況

## 河川清掃活動に参加

七河川清掃活動



波介川清掃活動



日下川清掃活動



県民一斉清掃活動



現場周辺での清掃活動



## 河川工事で環境配慮

## 絶滅危惧種の確認

### 汚濁防止フェンス

### 河川工事で（日下川）作業箇所にも生育していることを調査したが確認されなかった



植物	<p>ミソコウジュ(シソ科)</p> 	<p>一般生態と確認状況等</p> <p>【分布】 本州～琉球に分布する。</p> <p>【一般生態】 ・ロゼ外葉のある越年草。湿った草地やあぜにはえる。 ・葉は長楕円形で根出葉は長い柄があり、花時には結れる。 ・花期は5-6月。</p>	標準減危惧 (NT)	標準減危惧 (NT)
鳥類	<p>カワセミ(カワセミ科)</p> 	<p>一般生態と確認状況等</p> <p>【分布】 ほぼ全国に分布する。北海道では冬季南下する。</p> <p>【一般生態】 ・全長・雌雄17cmほど ・鳴き声：細いチーツ ・生息場所：平地から低山の河川、池、湖沼に生息する。</p>	標準減危惧 (NT)	-

・ 植生、小動物などの生物生息調査を実施した。

社会貢献活動

エコキャップ活動



2019/6/12 今回1,075個収集 2.5kg  
累計でCO<sub>2</sub>を143.33kg削減

NPO法人環境の杜こうち主催の  
高知環境博2019に協賛



## エコキャップ 受領書

東山建設(株) 御中  
ID: 6644  
分類: 会社  
ご住所: 高知県高知市高須新町3-5-1  
FAX番号: 088-885-3690

2019/06/20

NPO法人  
エコキャップ推進協会  
〒231-0225  
神奈川県横浜市南区山下町16-2-1  
TEL: 045-900-0294  
FAX: 045-900-0295  
http://ecocap.or.jp

今回受領個数: <b>1,075 個</b>	累計個数 (2019/06/12時点): <b>19,490 個</b>
------------------------	--------------------------------------

受取日	数量	重量(約)	備考
2019/06/12	2,50kg	1,075個	

ご提供いただいたエコキャップは再生プラスチック原料として廃棄し、医療支援や障がい者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動にあてられています。  
ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

- 累計のキャップをゴミとして焼却した場合のCO<sub>2</sub>発生量  
→ 143.33kg  
※キャップ1kgで約3.15kgのCO<sub>2</sub>が発生します

**第10期に新たにご参加いただいたエコステーションをご紹介します**

エコキャップ推進協会の活動の目的の一つとなっております。今回は2016年9月より新たにご参加いただいた最寄県にあり、NPO法人「環境の杜 高知」さんをご紹介します。

理事長 原田さきより  
エコキャップは回収することからすでに社会とつながっています。分別・シールはなしなど得意とする分野は、やり方を工夫することによって障害がある人も参加できる仕事になります。

全文は、エコキャップ推進協会ホームページをご覧ください。  
[http://ecocap.or.jp/report\\_20151225.html](http://ecocap.or.jp/report_20151225.html)  
エコキャップ新聞2号に掲載

ご協力いただける施設を募集しております。法人本番までお問い合わせください。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に、掲載させていただきます

エコキャップ推進協会はロゴマークを一新し、環境NPOとして活動を強化して参ります。

平成30年度 高知県豊かな環境づくり総合支援事業補助事業

# こうち 環境博 2019

2月2日(土) 10:00▶16:00  
2月3日(日) 10:00▶15:30

会場: 高知市立総合体育館  
〒780-0955 高知市南3丁目115番地  
開場時間: 開場3丁目下り徒歩9分  
入場時間: 開場3丁目下り徒歩1分  
※入場券は2月2日午後5時5分

入場無料  
一部有料の会場あり

同時開催  
環境博  
知の国  
知の国

2日(土) ステージ  
10:00 高知市立南小学校吹奏楽部  
11:00 環境国際クリーンランチャージョ  
12:30 サンドイッチバーラーライブ  
13:30 よこしローがやってくる!

ワークショップ  
\*カホンづくりワークショップ  
講師: 山下雅也 (やまがや) さん  
日時: 2月2日 (土) 10:30~12:00

\*水しきんと桐田ぼくって教室  
講師: 桐田 和也 さん  
日時: 2月2日 (土) 13:30~15:00

\*水しきんと桐田ぼくって教室  
講師: 桐田 和也 さん  
日時: 2月2日 (土) 15:30~17:00

\*水しきんと桐田ぼくって教室  
講師: 桐田 和也 さん  
日時: 2月2日 (土) 18:30~20:00

3日(日) ステージ  
10:30 こどもエコクラブ交流会  
12:00 上野まよこいぬ子講座  
13:00 マジックショー・ハッピークラウンズ  
(高知市立南3丁目115番地)  
14:00 高知市立南3丁目115番地

ワークショップ  
\*アロマワックスカード  
講師: 高知市立南3丁目115番地  
日時: 2月3日 (日) 10:00~11:30

\*パティエと一緒に  
デコレーションケーキづくり  
講師: オガサキベニー さん  
日時: 2月3日 (日) 13:00~15:00

【お問合せ】 環境の杜 2019 実行委員会事務局 株式会社環境の杜 環境の杜こうち  
〒780-0955 高知市南3丁目115番地 環境の杜こうち事務局センター(ソール) 3階  
TEL: 088-892-2201 FAX: 088-892-2205 E-mail: info@ecocap.or.jp  
http://ecocap.or.jp

## 9 次年度（令和元年度）の取組内容 （令和元年7月～令和2年6月）

項目	活動内容	継続	担当者
電気使用量削減	長時間使用しないパソコンは電源OFF	継続	使用者
	退社時にコンセントを抜く	継続	使用者
	不要な照明の消灯	継続	EAZ1委員会
	不要な空調機器の停止	継続	EAZ1委員会
	トイレ・洗面所は必要時のみ点灯	継続	使用者
	冷暖房機の温度設定（冷房28℃ 暖房20℃）	継続	EAZ1委員会
燃料使用量削減	アイドリングストップ・急発進・急加速の禁止	継続	使用者
	法定速度遵守	継続	使用者
	過積載防止	継続	現場責任者
	電車（ですか）利用の促進	継続	総務
	排ガス対策機械の優先使用	継続	現場責任者
	低燃費機械の優先使用	継続	現場責任者
	低燃費車両への買替	継続	EAZ1委員会
一般廃棄物削減	可能な限り両面コピーの実施	継続	使用者
	可能なものは裏紙コピーの実施	継続	使用者
	ゴミの分別をして減量化さす	継続	総務
	リサイクル業者への排出	継続	総務
産業廃棄物削減	マニフェストによる適正管理・処理に努める	継続	現場責任者
	分別を徹底して排出する	継続	
水使用量削減	垂れ流し状態をなくす	継続	使用者
	こまめに蛇口を閉める	継続	
グリーン商品利用促進	グリーン商品の優先購入	継続	総務
	対象商品の拡大	継続	
地産地消の拡大	リサイクル材料の優先購入	継続	現場責任者
	木材・コンクリート製品など（輸送コスト低減）	継続	
環境配慮工法・製品の使用	河川汚濁防止対策	継続	現場責任者
	排ガス対策機械・低燃費機械の使用	継続	
	粉塵発生の低減	継続	
	低騒音・低振動な施工の促進	継続	
地域・社会貢献活動	清掃・防犯活動への積極的な参加	継続	EAZ1委員会
	エコキャップ活動の拡大	継続	
	交通エコポイント還元事業	新規	

10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに  
違反、訴訟等の有無  
環境関連法規遵守の確認と評価

遵守確認日 令和元年6月28日

法規制等の名称	該当する要求事項	確認項目	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物 ・事務所ゴミの分別排出	資源物の分別確認	○
		許可業者確認	○
	産業廃棄物	委託先の許可確認	○
		委託契約確認	○
		委託者の適正処理確認	○
		管理票の交付、回収、照合確認	○
		交付状況報告書確認	○
		1000+以上の届出	○
	収集、運搬業	契約状況確認	○
		有効期限確認	○
		車輛確認・表示	○
積替え保管場所確認		○	
資源有効利用促進法	指定副産物に係る再生資源 利用の促進	再生資源利用計画・ 実施書の作成と保存	○
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体・処 理	契約書に明示及び上記書 面確認	○
騒音規制法	敷地境界で規制基準を 満たすこと	特定建設作業届け	○
振動規制法	敷地境界で規制基準を 満たすこと	特定建設作業届け	○
水質汚濁防止法	事故等で、公共用水域に油等の汚染水 が排出された場合は応急対策を講じ、 県へ届出	該当事項の有無とその処置方法	該当なし
グリーン購入法	環境負荷の少ない製品の優先利用	購入品種・購入金額の確認	○
建設工事公衆災害防 止対策要綱	公衆災害防止（ほこり・地盤沈下）	防塵対策（散水など）確認	○
高知県・高知市公害 防止条例	水質・振動・騒音	適宜、届出実施（計画書確認）	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品を対象	バックホウ・事務所エアコン は対象外であることを確認	該当なし
大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う「特定建築材 料（石綿等）」の除去作業 （特定粉じん等排出作業）	・該当事項確認 ・作業開始14日前までに知事 に計画書を提出	該当なし
	建築物等の解体、改造、又は補 修作業の伴う建設工事 （特定粉じん等排出事業）	・該当事項確認 ・作業開始14日前までに知事 に計画書を提出	該当なし

違反・訴訟等の有無について

当社に於いて適用される環境法規に対して、違反はありませんでした。

又、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありません。

対象期間 平成30年7月1日～令和元年6月30日

## 11 代表者による全体評価と見直しの結果

見直しに必要な情報	代表者による見直し
(環境管理責任者)	令和元年6月28日 代表取締役 東山 瑞穂
<p><b>【取組の評価・提案】</b></p> <p>①苦情処理に関して ・なし</p> <p>②是正・予防に関して ・なし</p> <p>③前回までの代表者の指示事項への対応 ・現場の二酸化炭素の排出量は目標達成できなかった。 工事の特性上やむを得ない部分がある。</p> <p>④改善の提案 ・排ガス低騒音の機械は、各現場で使用されている。 今後は、アイドリングストップやエンジン出力低減を徹底すること。</p>	<p><b>【環境方針】</b></p> <p>特に変更の必要性は無い。</p> <p>現場では化石燃料の使用は必然であり今回も目標達成には至らなかったが、引き続き環境負荷の低減に努めるとともに、社会貢献活動などに積極的に参加し、活動を継続すること。</p>
<p><b>【目標の達成状況】</b></p> <p>電力消費の削減 (本社) 達成 (現場) 達成</p> <p>化石燃料消費削減 (本社) 達成 (現場) 未達成 軽油の使用増</p> <p>CO<sub>2</sub>排出量削減 (本社) 達成 (現場) 未達成 軽油の使用増</p> <p>産業廃棄物の削減 (本社) 達成 (現場) 未達成</p> <p>節水 (本社) 未達成 (現場) 未達成 薬注・推進工事等で増</p> <p>地域・社会貢献 達成</p> <p>グリーン購入 達成</p> <p>地産地消 達成</p> <p>環境配慮・製品 達成</p> <p>・土木現場で絶滅危惧種への配慮も実施された。</p>	<p><b>【目標・活動計画】</b></p> <p>変更の必要性なし</p> <p>CO<sub>2</sub>排出量削減は、本社では達成でき現場では達成できなかった。、低燃費機械の使用は各現場で実施できている。今後は、アイドリングストップやエンジン出力低減にも努めること</p> <p>今回も、河川工事で良く配慮が出来ていた。現場担当者は創意工夫をしながら取組を実施すること。</p> <p>現場の化石燃料使用量は工事の特性によって大きく変化し、やむを得ない部分もあるが、引き続きリサイクル率の増加と環境配慮製品の使用の増加に努めること。また、社会貢献活動も継続すること。</p>
<p><b>【周囲の変化】</b></p> <p>外部コミュニケーション 土木工事で騒音に対する苦情が発生したが、すぐ対応した。</p> <p>環境関連法規制の動向 化学物質の使用に当たっては、SDSの確認明示、リスクアセスメントの実施。</p>	
<p><b>【総括】</b></p> <p>引き続き全従業員の環境意識の高揚に努め、環境負荷低減に努めること。</p> <p>環境経営システムは有効に機能している、変更の必要性は無い。</p>	